

第 1 調査結果の特徴等

1 県の平均変動率は、全ての用途において5年連続で上昇したが、上昇幅は縮小した。

- (1) 平均変動率をみると、住宅地は1.6%の上昇（昨年2.3%）、商業地は2.7%の上昇（昨年3.6%）となり、それぞれ上昇幅は縮小した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では上昇地点数が70.0%（昨年75.2%）を占め、横ばい地点数が17.7%（昨年13.7%）、下落地点数が12.4%（昨年11.1%）となった。
また、商業地では上昇地点数が83.0%（昨年83.7%）を占め、横ばい地点数が11.1%（昨年11.1%）、下落地点数が5.9%（昨年5.2%）となった。

2 住宅地では、名古屋市、尾張地域、知多地域及び西三河地域で上昇し、東三河地域で下落となった。商業地では、名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域及び東三河地域の全地域で上昇となった。

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では名古屋市で3.0%（昨年4.3%）、尾張地域で1.7%（昨年2.1%）、知多地域で1.6%（昨年1.9%）、西三河地域で1.5%（昨年2.6%）、東三河地域で△0.1%（昨年0.1%）と名古屋市、尾張地域、知多地域及び西三河地域で上昇を、東三河地域で下落を示した。
また、商業地では、名古屋市で4.1%（昨年5.8%）、尾張地域で2.2%（昨年2.3%）、知多地域で1.4%（昨年1.4%）、西三河地域で2.4%（昨年3.8%）、東三河地域で0.4%（昨年0.8%）と全ての地域で上昇を示した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では40市町（昨年42市町）で上昇を示し、商業地では41市町村（昨年40市町村）で上昇を示した。
一方、住宅地において、南知多町、美浜町など13市町村（昨年10市町村）が下落を示し、商業地でも南知多町、設楽町など8市町（昨年8市町）が下落を示した。
- (3) 名古屋市各区分の平均変動率をみると、住宅地及び商業地において、全ての区で上昇を示した。

3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では「中村（県）-4（則武2丁目）」（14.5%）、商業地では「千種（県）5-4（内山3丁目）」（10.8%）であった。

一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では「西尾（県）-12（東幡豆町）」（△4.7%）、商業地では「南知多（県）5-2（師崎）」（△4.2%）であった。

- (1) 住宅地では変動率上位5地点は名古屋市、長久手市、一宮市及び大府市の地点が占めた。
また、商業地では変動率上位5地点は名古屋市及び大府市の地点が占め、そのうち、2地点を千種区の地点が、1地点を中村区及び中区の地点が占めた。
- (2) 住宅地では変動率下位5地点は西尾市、美浜町、豊根村、南知多町及び豊田市の地点が占めた。
また、商業地の変動率下位5地点は南知多町、豊田市、田原市及び蒲郡市の地点が占めた。